

「『海辺の遠足』研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

砂浜の造形づくりやビーチコーミング等の自由遊びを楽しむ。

(※本研修では海には入りません。)

2 ねらい

海辺での活動を通して江田島の海に対して親しみを深める。

3 対象者

幼児から（幼児向けプログラムですが、それ以外の団体も実施可能です。）

幼稚園、保育園、こども園等が実施する場合は、交流の家職員が活動の支援をすることも可能です。予めご相談ください。

4 人数

10人以上から50人程度まで

5 実施時期、時間、場所等

- (1) 実施時期…7月～8月（午前中のみ）
- (2) 時間…1時間～3時間
- (3) 場所…水泳場の砂浜
- (4) 1グループの最適人数…5人程度

6 実施の可否

(1) 判断時期

① 午前の部…8時40分

（いずれも研修当日）

② 活動実施中…随時

(2) 可否基準

以下の①～⑦の場合、活動を実施しない。

① 強風注意報及び暴風警報が発表されている場合

② 大雨注意報及び大雨警報が発表されている場合

③ 波浪注意報及び波浪警報が発表されている場合

④ 津波注意報及び津波警報が発表されている場合

⑤ 雷鳴がしている場合

⑥ 原則、熱中症暑さ指数（WBGT）31℃以上または気温が35℃以上の場合

⑦ その他、特に活動に不適切と判断した場合

(3) 可否の確認・連絡方法

① 6 (1) ①の場合

団体は事務室窓口にて、交流の家職員から可否確認を行う。

② 6 (1) ②の場合

交流の家所長が活動を中止すると判断した場合は、直ちに団体に連絡する。

7 準備物

(1) 個人：汚れたり濡れたりしてもよい服装 運動靴または長靴（サンダル不可）

帽子 着替え タオル 飲み物

(2) 引率者：汚れたり濡れたりしてもよい服装 運動靴または長靴（サンダル不可）

帽子 軍手 飲み物 敷物 タオル 着替え

ビニール袋（収集用） 救急バッグ（貸出可）

熱中症対策のためのタブレット持ち込み可

(3) 交流の家 砂遊びセット

※幼児の場合は、上記に加えライフジャケット、幼児用軍手を貸し出します。



8 指導・安全管理

(1) 団体は次の役割を担う。（小規模の団体は担当を兼ねることができる。）

①総括責任者（全体の総括・指導）・・・1人

*実際の引率指導に当たっている団長（園長、学校長、教頭、学年主任等）

②指導担当者（用具の準備・片付けの指示、指導及び安全管理）・・・1人以上

*事故があった場合救助に向かうため、ライフジャケットを着用する。

③監視担当者（監視・安全管理）・・・1人以上

④救護担当者（健康観察・応急処置・AED設置場所の確認）・・・1人以上

(2) 主な留意点

①鋭利な貝殻やガラス等によるケガに注意する。

②干満による潮位の変化に注意し人や道具が波にさらわれないようにする。

③適時、日陰で休憩し水分補給する。

④**必ずライフジャケットを着用する。**

⑤**海には入らない。**

9 展開

所要時間	内容	指導者の働きかけ	留意点
	事前確認	<ul style="list-style-type: none"> ○「物品利用希望書」の提出団体は必要事項を記入し、入所日の10日前に提出をする。 ○服装（帽子、長靴）の確認をする。 ○トイレを済ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者は事前に危険な漂着物がないか確認しておく。
10分	説明	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の説明 ○セーフティトーク（3つの約束） <ul style="list-style-type: none"> ・グループで行動する（ひとりで行動しない） ・歩く（走らない） ・服を濡らさない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供達が集中できるように指導者は、子供たちの視界に海が入らない位置に立つ。 ○簡潔に説明する。 ○セーフティトークは理由を合わせて話すように心がける。 ○鋭利な貝殻やガラス片等実物を見せながら説明する。
10分	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフジャケットの装着（幼児の場合） ○軍手の装着 <ul style="list-style-type: none"> ・見本として指導者が実際に装着する。 ・自分でできることは自分でさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切に装着しているか確認する。 ○安全意識を高めるため、最後に3つの約束を再び確認してから、活動を開始する。
40分	浜辺遊び (前半)	<ul style="list-style-type: none"> ・砂遊び道具を貸し出す。 ・6人程度のグループで活動する。 ・指導者は安全面に目を配りつつ、自由な遊びの流れを尊重する。 ・遊びのバリエーションのヒントとなるように、指導者も一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○波打ち際で遊ぶ際は濡れないように声をかける。 ○天候や子供の体調を考慮して、必要に応じて活動時間を短縮する。
適時	休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・道具が波にさらわれない場所に集める。 ・指導者は、前半の活動の感想や後半の活動でしたいこと等を話題に上げる。 ・天候や子供たちの様子によっては、絵本の読み聞かせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○風でゴミが飛ばされないように注意する。

所要時間	内容	指導者の働きかけ	留意点
40分	浜辺遊び (後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・前半の活動の続きをする。 ・干満差によって砂浜が変化することに気づかせる。 	○慣れてくると、行動範囲が広がり、遊び方が大胆になってくるので、その特性を理解し、必要に応じて指導者の配置を変える。
10分	片付け	<ul style="list-style-type: none"> ○道具を洗う。 ○自分で使った物は自分で片付ける。 ○ライフジャケットを脱ぐ。 ○軍手を外す。 ○必要に応じて着替えをする。 	
10分	おわりの会	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビュー ・何をして遊んだか？ ・感想を尋ねる。 	○他の子供にもよく聞こえるように、指導者は子供が答えたことをオウム返しして紹介する。

10 連絡先

	一般電話番号	緊急通報用電話番号
第六管区海上保安本部	082-251-5111	118
江田島消防署 (救急係)	0823-40-0358	119
江田島警察署	0823-42-0110	110
国立江田島青少年交流の家	0823-42-0660 (代表)	
	0823-42-0661 (プログラム担当係)	